

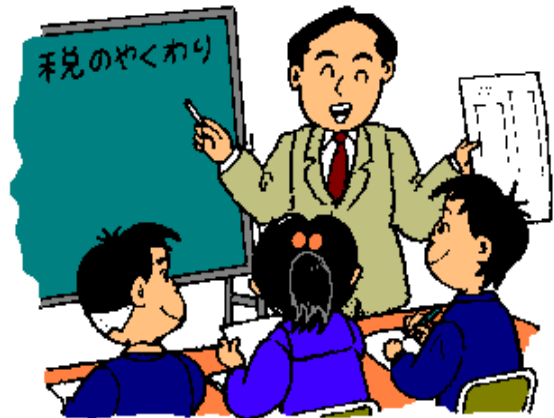
## 村上税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞

### 『税に感謝』

村上市立朝日中学校 3年  
小池 彩実 さん

一千万円、この金額はなにか分かりますか。これは、一人あたりの小学校に入学してから高校を卒業するまでの12年間に使われている税金の金額です。私はこのことを知ったときとても驚きました。こんなに高いお金が私の勉強のためにかけているんだと、思い知りました。

私がこのことを知ったのは、中学生になってからです。それまでは、税について何も知らず、唯一知っていた消費税も何のために払っているのか分かりませんでした。ある時、授業で今、自分たちの使っている教科書についての話を聞きました。かつて、教科書は今のお金で言うと約二万円もの価値があり教科書を買えなかった子どもたちもいたそうです。でも私たちが今使っている教科書を見ると後ろに0円と書かれています。これは、私たちの使っている教科書はすべて税で払われていて、無償で提供されているということです。



このことを授業で知ったときから、私は勉強をがんばろう、教科書を大切にしようと思えるようになりました。

今、私たちは勉強ができています。それがどんなに幸せなことかが、税について知ることでも分かりました。私は、高校に行って、大学にも行き、自分の夢の仕事に就きたいと思っています。そのために、自分に勉強ができる環境を作ってくれた税金に感謝し、勉強をがんばって、未来に貢献できる大人になりたいと思いました。

そして、このことを知ってから税に興味をもち、税について調べてみました。調べてみて私たちは税金を払うことで社会に手助けできていると思いました。税金を払っている人みんなが何かの役にたっています。病気でお金が払えなくて困っている人に補助したり、私たちのような学生に勉強ができる環境を作ってくれて、みんなの暮らしを支える税金はなくなるものだと思います。

私は今は消費税しか払う税がないけれど働くようになってからはしっかり税金を払って社会に貢献したいです。

